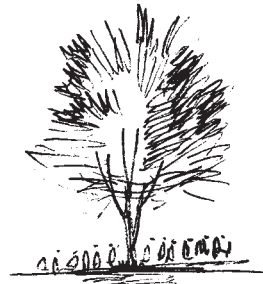


# 光の子



No.208 2022.12.25

●年間聖句 イエス・キリストは言う：私のもとに来る人を、私は決して追い出さない。  
(ヨハネによる福音書6章37節より)



「空からの贈りもの」

表紙絵・中島 由起子

でつちやうかん

黛 まどか

一塊の陶土とむつみ鴉日和

秋の声父の墓よりついてきし

身に入むや土器に火の痕ゆびの跡

ていねいに木霊を返し秋行けり

着ぶくれていつもの店へ連れ立ちぬ

火櫛の壺置いてより虎落笛

でつちやうかん綿入の母真ん中に

## イエス・キリストの「食べ物」

## ヨハネ福音書からの学び

聖学院大学名誉教授  
北本教会牧師

阿部 洋治

ヨハネ福音書によれば、イエス・キリストはフアリサイ派の迫害を逃れるため大急ぎでエルサレムからガリラヤに戻らなければならぬことがありました。そのためサマリヤを通る近道を選びました。シカルという町に来た時のことです。イエスは疲れ果て喉も渇き、町はずれの井戸のそばにひとり座っておられました。弟子たちは食べ物を買って町へ出かけました。時は正午頃。そこに一人のサマリヤの女性が水汲みに来ました。水汲みは夕方の仕事なのに、彼女は、人を避けるため敢えて正午頃にやって来たのです。

「水を飲ませてください」（4・7）主イエスは懇願します。井戸は深く道具なしでは水は汲めなかったのです。しかし、彼女は、疲れ果て座り込んでいる旅人が日頃サマリヤ人を軽蔑しているユダヤ

人であることに気づき意地悪な対応をしました。いや、それ以上に、自分の暗い過去を覆い隠すため強がって見せたのです。しかしイエスはそうした姿の中に彼女の抱えていた問題を御覧になったのです。

「行つて、あなたの夫をここに呼んで来なさい」（16）普段の姿勢には似つかわしくないほど厳しく単刀直入に彼女の過去に踏み込んで行かれました。それは、見せかけの強がりであり、本当の自分を覆い隠し、自分自身からも逃避している彼女に自分の問題と真剣に向き合わせるためでした。これまで五人の男と結婚。しかしどの男性とも離婚を余儀なくされ、今はひとりの男との不倫関係。彼女は心に深い傷を負っていたのです。

イエスがこうしてこの女性の心の問題に踏み込んで行か

れたのはその強がりやをへし折るためではなく、人間誰もが神の前に遜り、神の赦しと助けと救いを祈り求めなければならぬことを自覚させるためでした。人には隠して平気な顔をせざるを得ないかも知れない。しかし、神は、惨めさと弱さにおいて、「悔い改めて帰つて来なさい」と呼びかけておられるのです。この女性はイエスとの対話を通して神との関係へと目が開かれて行きました（19、20）。

「ちようどそのとき、弟子たちが帰つて来て、イエスが女の人と話をしておられるのに驚いた」（27）当時ユダヤ人社会は、「男性は公の場所では女性に挨拶をすべきではない。自分自身の妻に対しては公の場所では声をかけるべきではない」、「律法の言葉を

婦人たちに分け与えるくらいなら、それを燃やしてしまう方が良い」と言い、時には「女に生まれなかつたことを感謝します」と祈るほどに女性蔑視の社会でありました。イエスの弟子たちさえそうでありました。

しかしイエスは多くの苦しみの中で激しい叫び声をあげ涙を流しながら神に祈らないではいられない惨めさと弱さを知っておられたのです（ヘブライ書5・7、8）。この女性とのイエスの対話は、惨めさと弱さの共感においてなされたのです。そして、この対話がこの女性の心を神への開くことになりました。この喜びにこそ弟子たちの知らないイエスの「食べ物」（32）があつたのです。



佐藤家のツリー

# 共育ちカンガルー日記 (63)

## 「新生ふれあい級」

近藤 みちる

半年ほどカンガルー日記をお休みしている間に、優希の学校生活に劇的な変化があった。3年生に進級してからの優希は、それまで深刻な登校拒否に陥っていたことが嘘のように毎日楽しく学校に通えるようになったのは4月、ふれあい級担任として新たにT先生とM先生という2人の若い女性教員を迎えたことだった。

実はT先生もM先生も、以前から理科と家庭科の教科担当として優希の授業を受け持っていた。2人とも明るく気さくで話しやすいお人柄、年齢も近いという点で、優希にとっては年の離れたお姉さんのような存在だった。調子を崩してからの優希であつても、パニックを起こさずに安定して授業が受けられる数少ない先生達でもあつた。

T先生によれば、優希がパ

ニックを起こしそうなときは、表情やしぐさなどでわかるらしい。臨機応変に授業内容を変えたり休憩を入れたりすることで、パニックは容易に回避できるといふ。一方で優希の知的好奇心を上手にくすぐり、でんじろう先生がさながらの魅力的な実験を次々と展開。T先生との理科の授業は、優希が学校の中で最も楽しみにしている時間となつていった。

家庭科についても、小学校の頃から大好きな科目ではあつたが、Y先生は1年次の通知表に「手先が器用で裁縫は何でも手早く正確にきれいに仕上げます。裁縫は将来優希さんの得意分野として活かせると思います」とコメントを書いてくれたことあり、優希の自信に大きく繋がつた。優希のような支援級の生徒達も秀でた能力は持ち得ている。M先生がそれを見逃がさずに

正当に評価してくれたことが、親として何よりも嬉しかつた。

そんな先生達がふれあい級を大きく変えた。これまではふれあい級の方針として、生徒たちはできる限り交流級で過ごすこととされていた。そのため、ふれあい級の教室で過ごす時間は重視されず、居心地うんぬんなど検討されたこともなかつたようだ。

だが新生ふれあい級では、生徒達の特性やその時々の子により、交流に出るか否かを生徒の意思で選べるようになった。教室にはいつでも先生や支援員がいて、生徒達のサポートに余念がない。黒板にはイラストが得意なT先生が色鮮やかにチョーク画を描き、壁には生徒達の工作や絵、写真などを飾るコーナーも設けられた。理科室で飼われていた金魚達も、大きな水槽ごと引越してきた。こうしてふれあい級は、生徒達にとって何よりも安心できる居場所となつたのである。

ふれあい級改革の成功の陰には、学校を上げての最大限の配慮もあつたようだ。今年

度は、ふれあい級の担任に学年業務やコーディネーターなどの役割が付かなかつたのだが、それは優希が入学して以来、初めてのことだ。先生方は思う存分ふれあい級に全力投球できるようになつたのである。校長先生も教頭先生も毎日のようにふれあい級に顔を見せてくれるし、時には授業もしてくれると聞く。

生まれ変わったふれあい級で、優希はすっかり調子を取り戻し、5月末には体育祭、6月には修学旅行にも参加することができた。修学旅行にはT先生が同行し、2人部屋で寝起きまで共にしてくれた。夜はガールズトークに花を咲かせ、優希自ら推しのアイドルの動画を見せ、歌やダンスを披露したとか。さすがのT先生もさぞかし疲れたことだろうと思いきや、「優希ちゃんといるとすごく楽しいんです！」と屈託なく笑っていた。

そして迎えた秋の文化祭。ふれあい級は陶芸や手芸などの作品展を催した。思いがけず交流級のクラスメイトがたくさん来てくれて優希はとて

も喜んでいたが、実はここにも布石が打たれていた。交流級担任のN先生は、毎朝必ずふれあい級に顔を出して優希に声をかけ、交流級のホームルームで、優希が元気に登校していることを皆に伝えてくれているそうだ。小1の頃から9年間、共に育ってきた仲間。今は距離ができてしまったが、何とか繋がり続けて、共に卒業を迎えて欲しい。

そして冬、3年生は受験シーズンに突入した。通信制高校を希望していた優希も、今は志望校の内定通知を待っているところである。1学期から、T先生と優希と2人で何度となく見学や体験に足を運んだ学校だ。学園ドラマに出てきそうな可愛い制服が優希の自慢で、高校では友達をたくさん作ると張り切っている。優希の悲願なのだろう。どうか叶いますように。そう、春には優希も高校生になる。

学校の大きな樺雪が降る

みちる

## 歴史の名著を読む

老健施設紅寿の里 施設長 仙道 富士郎

胃を失うということ味甘く見ていたようだ。胃全摘術によつて、胃を失ってからほぼ2年経つが、最近特に食事摂取に関するトラブルが多くなつてきて、ここ数日は、こんなことが続くのかと少し気落ちしている。胃が無くなること、食べたものは食道と結合された小腸に直接落ちていくことになる。通常食べ物は胃に数時間貯えられて、細切されたのちに小腸にたどり着くわけで、胃が無くなって、大きなかけらの食べ物を直接持ち込まれたのでは、小腸はたまつたものでない。胃を手術した人は、1回の食事の量を減らし、よく噛んだ後に飲み込むようにと諭される所以である。

私はほとんどこの教えを守つてこなかった。しかし、大したトラブルもなく過ぎてきていたのである。ただ、思い返してみると、術後間もない頃は、この私でも、ちよつとは用心して、ゆつくり食べていたのかもしれない。それが、のど元過ぎれば何とやらで、美味しいものを見ると、むやみに早食いする元の癖が戻ってしまったが故の出来事のようにも思える。小腸に食事摂取の術を教えてもらつて生きていくということなのか。

死ぬかもしれないと思い、やり残したことを片付けて、心に少しの余裕が出来て、ものを考えることも多くなってきた。「優しさだけが人生だ」、「常に他人の気持ちになつて物を考える」等あらまほしきことを頭に描き、また言つてきたが、「人間は何のために生きるのか」、「世界とは何か」といった人間の目標を射程に入れて生きてはこなかったように思う。まだ遅くはない。2人の教え子たちは、私の命を救い、そのことを考えるための時を、私に与えてくれたのではないか。僅かにかじつた記憶がある、人間界を揺るがし続けた歴史的名著にもう1回触れてみようかと思ひ立つた。聖書、原始仏典、資本論を手元に置くことにした。原始仏典の原著は手の届くところにはないので、中村元が書いた入門書をもつて替える。読み始めたばかりで何かを言つてはいけないことを承知の上で、感じていることについて触れることをお許し願いたい。

今、旧約聖書と新約聖書、中村元の書いた原始仏典の解説書を交互に読み進めている。

新約聖書については、東京で大学入試浪人をしていた時に街頭でもらつた新約聖書の言葉を、乾いた喉に水を流し込むような感じで読み始めた、遠い、遠い昔の記憶がよみがえる。「人もし汝の右の頬をうたば、左をも向けよ」「人の生くるはパンのみに由るにあらず」。思えば、60年以上前の話である。最初に聖書に触れたときに

は全く感じなかったのだが、今、旧約聖書創世記、新約聖書マタイ伝を通読して強く感じさせられることは、表現されている内容の激しさである。「つまりすぎとなるものすべてと不法となる者どもを自分の国から集めさせ、燃え盛る炉の中に投げ込ませるのである。」(マタイ伝13・41、42)。多くの句の中で、このように(悪い人間を)燃え盛る炉に投げ込む様が描かれている。また、創世記のなかでは、神はアブラハムに独り子イサクを焼き尽くされる捧げ物にすることを命じられる(創世記22・2)。信仰心の強さを提示する例えだとは思いますが、正直申し上げて、感覚がなかなか追いついていかない。

しい時代状況の中で、聖書の表現の激しさも生まれていったのだろう。「原始仏典はどうなのだ」などと、種々考えながら歴史

## イケメンの薬

彫刻家 中島 睦雄

の名著を読んでいくことになったら、死ぬ前にどのくらい読み進めるのか定かでなくなるが、始めてしまったのだから仕方あるまい。

いわゆる独居老人の典型として生活していると、恵まれた生活を望んでも叶うわけがない。とにかく、まず食えることを考えなくてはならない。「おう！お茶でも飲もうか！」と言っても、誰も持つて来ることはない。「おう！夕飯にしようか！」と言っても、それを受け入れる人はいない。でも、自分が生きていく為に毎日食べなければならぬ。そこで、朝食と夕食は店で買ってきて食べる。今は店で何でも売っているから便利である。

サラダ、バナナ。インスタントの味噌汁なんかはとても簡単便利で美味しくもある。しかし自分で料理を作ることとを知らない私はパターンが決まってしまふ。そこでお昼は毎日近辺の店を利用するのだが、これもパターンが決まってしまう。あまり変化がない。いつもの店に行くといつもその席に案内してもらい、いつもの注文して食べる。そんなんだからお店の人も知り合いになり、「いつものです」と言えば大抵解ってもらえるのである。でも時々冗談を言っ困らせてしまうこともある。

そうすると50円程引いてくれるんでしよう？」と。すると「それはダメです。値段は引けません。大盛りにするのでしたら追加料金はいただきますが(笑)」等々言われてしまう。また或る店では、服用している薬を飲むため「イケメンになるための薬を飲むんで、水をください」と言ってみて、店員の言葉を詰まらせてしまうことも。或る日、いつもの蕎麦屋にて、同じように「水をください。イケメンになる薬を飲むんですよ。これがなかなか効かなくてね」と言ってみた。すると女将さんは「ingですよ！効いてないんじやなくて効果は進行中ということでしょう。」と返してくれた。私の風邪薬等を用いたくれない冗談を面白く返してくれたことにとっても嬉しくなった。

私が同じ店に往き、同じ席で同じ食事をする。その本当の理由は、もしかしたらこのような人との関わりを求めてなのかもしれない。

## アフターケア

事務長 湯澤 有子

クリスマスおめでとうござ  
います。

去年に引続きコロナ第8波  
と言われ、感染拡大が気にな  
る中ですが、子ども達が心か  
ら楽しくお祝いできるように  
祈りを捧げます。

私は光の子どもの家に来て  
からまだ6年ですが、何人か  
の卒園生を見送って、高校を  
卒業した子ども（卒園生）が  
頼る家族や後ろ盾のない中で  
自立する困難さ、生活するこ  
とに自信が持てず迷い悩むこ  
との多さを見ました。また、  
社会的養護という制度の下、  
児童養護施設を退所する子ど  
も達に何が良いアフターケア  
なのか、考えさせられること  
が多々ありました。

私は各家に「たまに来るお  
ばさん」として子ども達と接  
していこうと思っています。  
その方が子ども達（特に女子  
高生）も悩みや相談をしやす  
いようです。

昨年度光の子どもの家を卒  
園した紅ちゃん、施設での出  
発（たびだち）の会の後、我

家に来て家族とともに出発を  
祝いました。分園に送ろうと  
すると「帰りたくない！ここ  
にいたい！」と駄々をこね泣  
いてしまいました。私の家族  
や私と外出したり食事をした  
りすると、帰りはいつもこう  
なるのでした。

いつも誰かに側にいてほし  
いという思いがとても強い、  
寂しがりやの紅ちゃん。卒園  
後県内のグループホームにて  
生活をする事になりました。  
た。同じ年代の利用者さんが  
いないこともあって、寂しい  
思いで電話をかけてきまし  
た。

就労移行支援に行くまでも  
沢山悩み、作業所の体験もし  
ました。先に繋がるのか心配  
でしたが、10月に入って「や  
りたいことが見つかった」  
「アルバイトに応募する」と  
連絡が入りました。

「応募したから」の後は  
「面接があるんだけどどうし  
よう……」「何を気をつけれ  
ばいい？」

面接の日は「落ち着いて、  
聞かれた事だけ誠実に自分の  
言葉で答えて」とやり取りを  
して「ファイト！」と送り出

しました。

結果は採用。かかってきた  
電話では、興奮して喜んでい  
ました。今は9時から18時ま  
での勤務ということ。「大  
変、覚えることいっぱいあ  
る」とは言うものの、休まず  
勤務しているようです。

グループホームの管理者か  
らも、「紅さん頑張ってます。  
初給料もらってきました。」  
と報告がきました。

まだまだスタートに立った  
ばかりですが、引き続き見守  
って行きたいと思えます。

## 外出行事から

児童指導員 折原 千絵

今年もお世話になりました。  
2023年が良い年とな  
りますように。

11月14日（埼玉県民の日）  
に小学生の外出行事（那須方  
面）がありました。私は遠出  
に付き添うのは初めてなの  
で、何を持って行けば良いの  
か、子ども達の様子はどうな  
るのかなど、ドキドキとワクワク  
が入り混じった気持ちで  
した。

10時出発予定でしたが、み  
んな早々にバスに乗り込み、  
予定より早く出発となりました。  
バスの中ではお喋りをし  
たり、折り紙をしたりと、思  
い思いに過ごしていました。  
昼食は焼肉とお寿司の食べ放  
題！高学年の子は、年下の  
子の分のお肉を焼いてあげた  
り、デザートを綺麗に盛り付  
けてあげたりしていて、面倒  
見の良さを初めて目の当たり  
にしました。低学年の子も、  
自分で一生懸命焼いていまし  
た。

お腹いっぱいになった後  
は、いよいよ那須野が原公園  
です。人工芝でのソリ遊びを  
楽しみました。勢い良く滑っ  
ていく様子には私はタジタジで  
したが、子どもたちは怖いも  
の知らずで「競争しよ！」と  
どんどん滑っていきます。ソ  
リから足を出したら早いか  
な？体を後ろに倒した方が早  
いかな？など、考えながら滑  
っていました。それから大き  
な滑り台やロープマウンテン  
を楽しみました。これも怖が  
ることなくてつぺんまで登る  
子が多数！鬼ごっこやかく  
れんぼをする子もちらほら。

紅葉の中を散歩して、写真を撮る子も。

その後は千本松牧場に行きました。動物特有の臭いに顔をしかめる子が多数……。それでも大きな牛や馬を見て「可愛い！」「餌あげたい！」と笑顔を見せていました。そしてお待ちかねのおやつは、牧場のソフトクリームです。濃厚なミルクの風味がとても美味しかったです。ただ、とても寒かったですね……。帰りのバスはほとんどの子が寝ていました。みんなはしゃいでいたので疲れたのでしよう。普段、すぐ喧嘩になっってしまう子たちも、外出中は不思議と喧嘩にはならず、それぞれ楽しんでいたようです。



園庭の芝生に落ち葉を集めて遊ぶ子どもたち。

す。園内保育中には見るもののなかつた自発的な姿、面倒見の良い姿など、新しい発見があり、私も楽しかったです。コロナ禍で少なくなってしまう行事が、今後はまた多くなっていくことを願っています。

**佐藤家から**

児童指導員 三井 正俊

クリスマスおめでとうございます。2022年も大変お世話になりました。

先日、彬（小2）と福（幼児年長）と私の3人で買い物に出かけたときの出来事です。車の中で彬が「『君は愛されるため生まれた』の曲かけて！」と言ってきました。この曲は夕礼拝でもよく歌い、また毎朝2人を起こす時に私がかけている曲です。

音楽が流れると福が「あー！してる（知ってる）！」と言い、そして彬が気持ち良く歌い出します。福はまだ言葉が上手く発することが出来ませんが彬を真似して歌います。

私が彬に「福が上手く歌えるように口の動きを見せてあげて」と言うと、彬は福の方を向き顔を近づけて「きみはあい される ため うま れた」と音程は無視して口の動きを強調して歌います。福も彬の口の動きを見て真似して彬に向かって言いますが上手く発音できません。何回か同じやり取りが続きましたが、上手く歌えない福にイライラし始めた彬は大きな声で「きみは！あいされる！ため！うまれた！」と捨て台詞のように福に言い、福も負けじと大きな声で真似して言い返します。バックミラーで後部座席の2人のやり取りを見ている私は爆笑です。半分喧嘩してるのに2人とも言っていることが素晴らしいです（笑）。雰囲気を変えるため2曲目に3人の大好きな曲「ひまわりの約束」を流しました。みんなそれぞれの音程で気持ち良く歌い最高です！そのとき心に留まった曲の歌詞「そばにいたいこと 何気ないこの瞬間も 忘れはしないよ」まさに今、この出来事が私にとって忘れることのない最高

の宝物となりました。これからもっと宝物を増やしていきたいです。子どもたちの願いと共に：

**仙道家から**

保育士 橋本 寛司

「ミルクでもらおうか。」今年も大変お世話になりました。師走を迎え、本年もたくさんの感謝や反省をして振り返る時期となりました。これは前号（207号）に書いた話の続きになります。

「牛乳を召喚!!」のブームが去り、子ども達の流行もゲームに戻った頃、たまたまテレビをつけたところ「遊☆戯☆王5D's（ファイブデイズ）」の再放送をやっていた。

主人公が町の酒場に入り店主に「ミルクでもらおうか」（未成年の為）と注文、店主が「なめてんのか!?小僧!!」と怒鳴りつけ「これ飲んでとっとと帰んな!」と牛乳を置かれる。このシーンを見ていた子ども達からは「遊戯王やばくない?」と話が出

た為、「いや、遊星（主人公）ビビッてないから大丈夫だよ」と言ったところ、「遊星強い!」「遊星かつこい!!」と子ども達から笑いがあり、その日はそこで話が終わった。

後日、昼食の際にいつも食事の時に牛乳を飲む政宗に対し「政宗何飲む?」と聞いたところ、「ミルクでももらおうか」と返ってきた。からかってみよう、「なめてんのか!」と少し演技を入れて強めに返したら、政宗は「いつものを頼む」と大人な対応で返してきた。

なんだつまらんといいた感じで政宗の前に牛乳を置き、テーブルに着き食事を摂ろうとした時、ふと政宗を見るとポロポロと涙を流していた。

慌てて「どうしたの正宗!」と泣いている理由を聞くと「遊星みたく強くなりたかったけどモッチが怖かった!」。からかったつもりで強めに言ったことが政宗にはきつかったらしく、シヨックを受けたみたいだった。「ごめんごめん、怖かったかあ。でもさ、橋本さんが言

ったことに対して、ちゃんと気をきかせて応えられてるんだから凄いなと思うし、かつこよかったよ」と言うところ、無言で頷き昼食を摂っていた。

政宗がやったことはまだ身の丈にあっていなかったのかもしれない。だが目標に向かって努力する、誰かの期待に応えようとすることは決してわるいことではない。むしろどんどん目標・将来に向かって努力・チャレンジして自分で自分の道が「光差す道」となるよう願っていたと思う。

\*編集部注、主人公がエースモンスターを召喚するときの台詞だそうですよ。

### 仙道家から

児童指導員 奥寺 美鈴

最近新しい子が仙道家に入ってきました。年長の友則は、縁があったのか私と小三の亜紀と同じ部屋になりました。入所して不安もあったようですが、よく食べよく寝て……、めずらしく子ども

らしい子ども」という印象。そんな友則がある日から「こんこん」咳をし出しました。「んゝあやしい」と思い通院し咳止めを処方してもらいました。その日の夜に発熱し高熱、咳、咳き込んでもどすという症状が出ました。

正直私は「とも君かわいそう」という気持ちよりも、日中は岩崎も小西も居る、他の職員も居る安心感があつても、夜は自分一人、いきなり状態が悪くなつたら……、寝られない……。という思いからストレスを感じていました。夜中起き、咳き込み、もどす……。友則の方がしんどい事は分かっていても夜に一人で見守る責任を感じました。

夜通し起きている覚悟を決めた時に小西から「日中寝たつていいんだからな」と言われ「そうだった、小西も岩崎も助けを求めたらどうにかしてくれる人だった」と何かとても楽になり、友則の看病も「とも君早く治りますように」と思っ一緒に居る事ができました。私の小さかった時に大人がしてくれた事を改めて

思い出し、大人つて大変だよな……。子どもつてかわいいよな……。としみじみ思いました。



隣家の草木が道路まで伸びていたため、施設として整備を申し出ました。子どもたちも、おもしろがつて、一緒にやってくれました。

お知らせ

リレー連載「光の子どもの家の事業計画（7）環境整備委員会」は、紙幅の都合で次号に掲載します。



# 釣りの世界

栄養士 関根 裕介

クリスマスおめでとうございます。今年も沢山の方々に大変お世話になりました。

皆さんは趣味をお持ちですか？ 私は多趣味で、釣り、神社仏閣巡り、キャンプ等々、主にアウトドア方面で好きなことがいっぱいあります。

だいぶ前の話になります。龍太と哲之が「釣りをしてみたい。連れてって」と言ってきました。夏休みの企画にと進めていましたが、このご時世で潰れてしまいました。

秋に入り、世の中や光の子ども達の事情も落ち着いてきたこともあり、その企画を実行することにしました。

2人は釣り未経験者。釣れる楽しみを知ってもらえるよう、何も釣れないで1日が終わってしまうこともある池や川ではなく、佐野市にあるアミューズメント施設「アミパーク」の釣り堀を利用することにしました。そこは屋内釣りにし、金魚、鯉、チョウザメと大きさが異なる魚が一つの大きな堀に泳いでいて、釣れた魚の大きさによるポイント

で景品交換ができ、子どもたちにとっては楽しく過ごせる場所です。

土曜日にてかけました。さほど遠くないので、道中「釣れるかな？」「どのくらいで着く？」等々話しているうちに到着。受付を済ませ、いざ男3人の釣りが開始！

最初にアタリ（釣り用語で針に魚が食いついたこと）があつたのは哲之。しかも錦鯉がかかっていることが確認され、思わず「すっげー！ぜつてー釣り上げる！」と釣れる前から興奮。無事に釣り上げることができ大喜びです。私は一緒に喜びつつも内心少し羨ましい気持ちに。一方龍太と言えはまん丸とした金魚が。そしてそのまん丸とした容姿が龍太に似ていて心の中（笑）です。

で、良い手応えだったかと思えます。

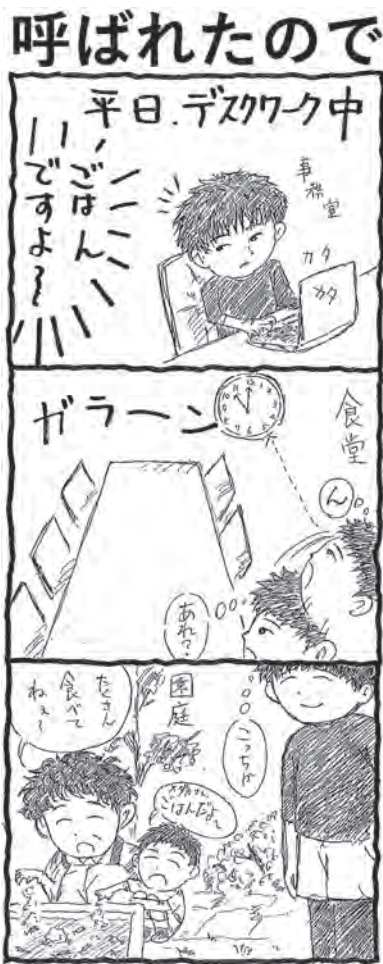
最近、また2人からのアップロードを上げていき、釣りの楽しさしかり、大変さ、厳しさも知ってもらい釣り仲間を増やしたいと思っています。

今回は、私が2人を釣りの世界第一歩の所に釣ったという事で（笑）ゲームやインターネット環境の普及により家の中で過ごす事が多くなりがちで、自然に触れる機会が減ってしまったという子どもが増えているように感じます。

自然に触れることにより学べること、育めること。癒やされること等があります。一方危険があるということもとても大切だと思っています。

私はそんな自然が大好きなのです。私が子どもの頃、自然がある所に連れて行ってくれた父親にそのようなことを教わったのだと思っています。

今回のことをきっかけに、心身健康で夢中になれる趣味を見つけてもらえたいと願っています。



楽しい時間もあつという間に過ぎ、3人でポイントを景品（今回はお菓子）に交換して家に向かいました。途中でコンビニに寄りソフトクリームを食べながら、車内で会話を楽しみつつ帰ってきました。

釣り初体験の2人にとつ

設立理念である「子どものための子どもの施設」を大切に、可能な限り「家庭的」であることを目指してこの地で37年の歩みを続けてまいりました。その歩みには一言では言い表すことの出来ない葛藤や悩みもありましたが、それにも勝る喜びや感謝がありました。その一年一年の積み重ねが、現在の暮らしをつくっております。

地域のボランティアの方々、キリスト教主義の学校、多くの教会など個人・団体の直接的な支えのみならず、お祈りに支えられここまで歩んでくることが出来ました。

改めて皆さま方のお寄せ下さる援助に感謝申し上げます。どうぞ今後も変わらないお支えをお願い申し上げます。

私たちを取り巻く社会情勢の厳しさは増しております。その中であって「光の子どもの家」が、ますます神さまの愛の内におかれ守り導かれますよう祈り願います。

あなたがたは、以前には暗闇でしたが、今は主に結ばれて、光となっています。  
光の子として歩みなさい。 (エフェソの信徒への手紙 5：8)

皆さまのご健康が守られクリスマスの祝福が豊かにありますように。

社会福祉法人 光の子どもの家      理事長 大高晋一郎  
光の子どもの家を支える会      代 表 永野 三恵

郵便振替 00130-1-128022

### 他銀行からのお振込み

【銀行名】 ゆうちょ銀行    【金融機関コード】 9900    【店 名】 019店  
【店 番】 019                【預金種目】 当座                【口座番号】 0128022



# 子どもたちのかがやきとともに

## — 光の子どもの家をお支えください —

2020年から全世界に蔓延したコロナ禍は未だ収束の気配が見えていません。更に2022年2月にはロシアのウクライナ侵攻を発端に戦闘状態は今なお続いています。こうした状況は、世界中にエネルギー問題や食糧問題、貧困などを引き起こしています。子ども達が引き継ぐ世界は、いったいどうなってしまうだろう……と心痛むばかりです。一日も早く平和が訪れますよう祈るばかりです。

その様な状況の中でも、私たちの毎日の暮らしは続いています。

ここ「光の子どもの家」でもコロナ感染があり、非日常の暮らしを余儀なくされましたが、子ども達の笑顔やエネルギー、職員一人ひとりの細やかな配慮や忍耐強いチームワークに支えられました。秋には中学校で運動会が久々に開かれ秋晴れの下に力いっぱい走り燃え、喜びに満ちた一日を過ごしました。

こうして、また一年が終わろうとしています。

今年もバザーや感謝の集いを開くことができませんでした。そのため、皆さまと直接交流できる機会がありませんでしたので、この場をお借りしてご報告いたします。

現在、幼児5名、小学生12名、中学生6名、高校生10名の計33名が本体施設3軒、分園2軒の計5軒で暮らしております。来年3月には3名の若者たちが、それぞれの道に進みます。「光の子どもの家」で多くの愛情に包まれ生活してきた彼らも、社会の厳しさに触れ戸惑い悩むことが多くなります。そのアフターケアに心を配らなくてはなりません。



日誌抄  
2022年10月～11月

【12月1日の在籍児童数】

幼児 5名 小学生12名  
中学生6名 高校生10名  
計 33名 ※含一時保護

【10月】

8日 ご招待を受けてJリーグ浦和レッズ戦観戦  
11日 埼玉県・加須市の通常監査（隔年で実施）  
13日 小学校の就学時健診  
15日 亜紀と穴水が鉄分\*補給で小田原へ（\*二人とも鉄道好き）  
19日 高倉富美子氏（母子生活支援施設「カーサ・ライラック」施設長）による施設内研修  
24日 藤岡孝志氏（日本社会事業大学教授）による施設内研修  
10月生まれの誕生会  
【11月】  
5日 再びご招待を受けてJリーグ浦和レッズ戦観戦  
8日 卒園生千重が子どもを連れて来訪、七五三祝い  
12日 ほのか七五三祝い、恥ずかしがって着物のお披露目

は出来ず  
13日 達也と遠藤が、ZINICのライブを見に東京ドームへ  
14日 埼玉県民の日、小学生中心で那須へ外出  
ひろみ七五三祝い  
15日 刀川和也氏（「隣る人」監督）来訪  
18日 パントリー  
20日 第2回ポートレート撮影  
21日 11月生まれの誕生会  
23日 水防避難訓練  
24日 風邪症状で通院した子どもがコロナ陽性、検査・隔離など対応（12月5日まで）  
27日 クリスマスツリー点灯

【礼拝ご奉仕】

東大宮教会、木田浩靖牧師、佐々木誠牧師

【委員会の主な動き】

運営 来年度の方向性、クリスマスについて検討  
危機管理 コロナ対応 避難訓練 消防設備点検立合  
学習支援 小学生学習会  
環境整備 雨漏り、排水等整備中 落葉掃除 各ユニットからの依頼に対応  
食生活 イベント献立・調理研修 外部講師を招いて施設内職員研修実施  
広報 「光の子」発行

情報・通信 子どものインターネットの約束更新、指導等  
【実習生】 淑徳短期大学2名  
埼玉純真短期大学1名

【元職員の来訪】

（敬称略）  
佐藤由香、中村一男、牧野由紀子

【寄贈者各位】

（敬称略）  
柿沼登志子 檀渕歌世 川並淳子 菊地友枝 木村郁子  
ゴンダ 齋藤由紀枝 櫻井秀夫 佐藤尚子 佐藤由香 鈴木史乃 曾根和次 曾根秀子  
竹林勝子 塚本加代子 豊国道江 長田美紗子 丹羽吉康 浜田文昭 樋口まち子  
山崎菜々美 山下勝雄 山中真紀 山本隆久・英美子 湯澤真彦 (株)Asira 岩槻教会 C T I フロンティア  
すくすく広場 (株)なとり (株)フレールベル館

【ボランティア各位】

（敬称略）  
他多数の皆様  
〈華道〉岡本有代  
〈学習〉加藤菜乃 関口晃司 常松洋介 向井進  
〈着付け〉荒巻潤子  
〈手芸〉山田智 山田裕子  
〈美容〉アンスリーム  
他多数の皆様

ご寄付について（物品の寄贈はお問い合わせください）

【郵便振替】00130-1-128022

他銀行から【銀行名】ゆうちょ銀行 【金融機関コード】9900 【店名】019店  
【店番】019 【預金種目】当座 【口座番号】0128022

【発行】社会福祉法人 光の子どもの家 【住所】〒349-1155 埼玉県加須市砂原277-3  
【電話】0480-72-3883 【FAX】0480-72-6649 【メール】hikarinoko@ceres.ocn.ne.jp  
【Webサイト】http://www.hikarinokodomonoie.com/ 【印刷】(株)エル・アートデザイン